

プラスチック製品製造業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13～14	当社事業場内において、原料を機械に加える作業中、踏み台（30cm程）に乗って原料を入れて降りようとした際、足を踏み外した。	38～29	10
3	11～12	工場内にて、立てた状態の原反を原反台にセットするため、原反を横に倒す作業をしていた。その際に本来の作業手順を行わず、空のパレットに足を掛けていたため、パレットが動いてしまい右足首を負傷した。	25～99	50
3	21～22	当社工場内にて製品梱包作業中に、梱包した製品をパレットに積もうとした際、誤ってパレットとパレットの間に足を引っ掛け転倒し、左膝部を強打した。	70～29	10
4	9～10	第3工場3号機付近で2日後の工程準備をしようと前工程の片付けをしていた。空ケースの載ったパレットをフォークリフトが使える位置に角度を変えようとしてしゃがんで横にずらしている時、腰に違和感があった。痛みもあったが動けたので準備を終えて帰宅したところ、足も痛みだした。	48～49	30
6	9～10	工場仕上課パネル組立ラインで作業中、パレットの上に置かれた製品ケースを降ろそうとした時、右足を踏み外し、右足副靭帯を損傷した。	38～49	30
7	23～24	原料倉庫場にて、ラック三段目すきまより原料名を調べようとしたところ、二段目パレット上の原料上に乗った。ラック上にパレットが少ししか片方がかかっていなかったため自分の体重もかかりパレットが傾き、被災者が下におちた。	22～49	30
	15～	成形機の段取作業中、コードが当該機械に引っ掛かっていることに気が付いた。		30

7	16	そこで空箱の上に乗って手で除去しようとしたところ、空箱がひっくり返り、転倒して負傷した。	47	～ 49
7	14～ 15	会社内において、金型移動作業中、金型（350×270×350）の上に乗る、他の金型を移動させようとしたときに右足を滑らせ、金型で右膝を強打し負傷した。	75	10 ～ 29
10	14～ 15	お客様の納品スペースにて、トラックより製品2パレット内、奥パレットを引き出す際、けん引棒がパレットへきちんと引っかかってなかった為に、けん引棒が外れてしまい後ろへ転倒。当日途中まで作業できていたが、夜中に激痛と腫れがあり、骨折していた。	59	10 ～ 29
10	17～ 18	プレス機械で抜き作業が終わり、不良を数える為、製品をテーブルの上に置き、抜き向けたとき、踏み台を踏み外し、約40cm下に頭から落ち、右足踵、骨折した。	54	50 ～ 99
10	22～ 23	第二工場、製函室にて、ダンボールを組み立てて、ベルトコンベアに流す作業中、ダンボールを置いていたパレットが空いたので、手で持ち上げて片付けようとしたところ、手が滑り左足の上に落としてしまった。	53	300 ～ 499
10	15～ 16	台風通過後の強風時に事業場内の1F南の大扉前で、干したタオルを回収し、両手に抱えて建物内に戻る途中、足元に置いてあった園芸用のネットが強風にあおられ足に絡まり、前のめりで転倒し負傷した。	59	50 ～ 99
12	14～15	作業台横に設置しているエアホースに足を引っ掛けてしまい転倒し、骨折した。	52	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html